

2015 年度の 3 つの活動



CAMP

2011 年から開催している「子どもリフレッシュキャンプ」(旧 福島っ子保養キャンプ) を、今年度も中津川市加子母にて夏と冬の 2 回開催し、合わせて延べ 123 人の子どもたちが参加しました。今年度のキャンプは、特に、野外の自然体験活動を多く実施しました。また、戦後 70 年に纏わる合唱を行いました。



フィールドアクション

愛知県を出て、東北地方での活動・ボランティアを実施しました。今年度は、福島県に 4 回、宮城県に 1 回行き、震災当時の状況や現在までの変化を学びました。また、2011 年からのキャンプ参加者と保護者を対象に、福島市にてイベントを実施しました。



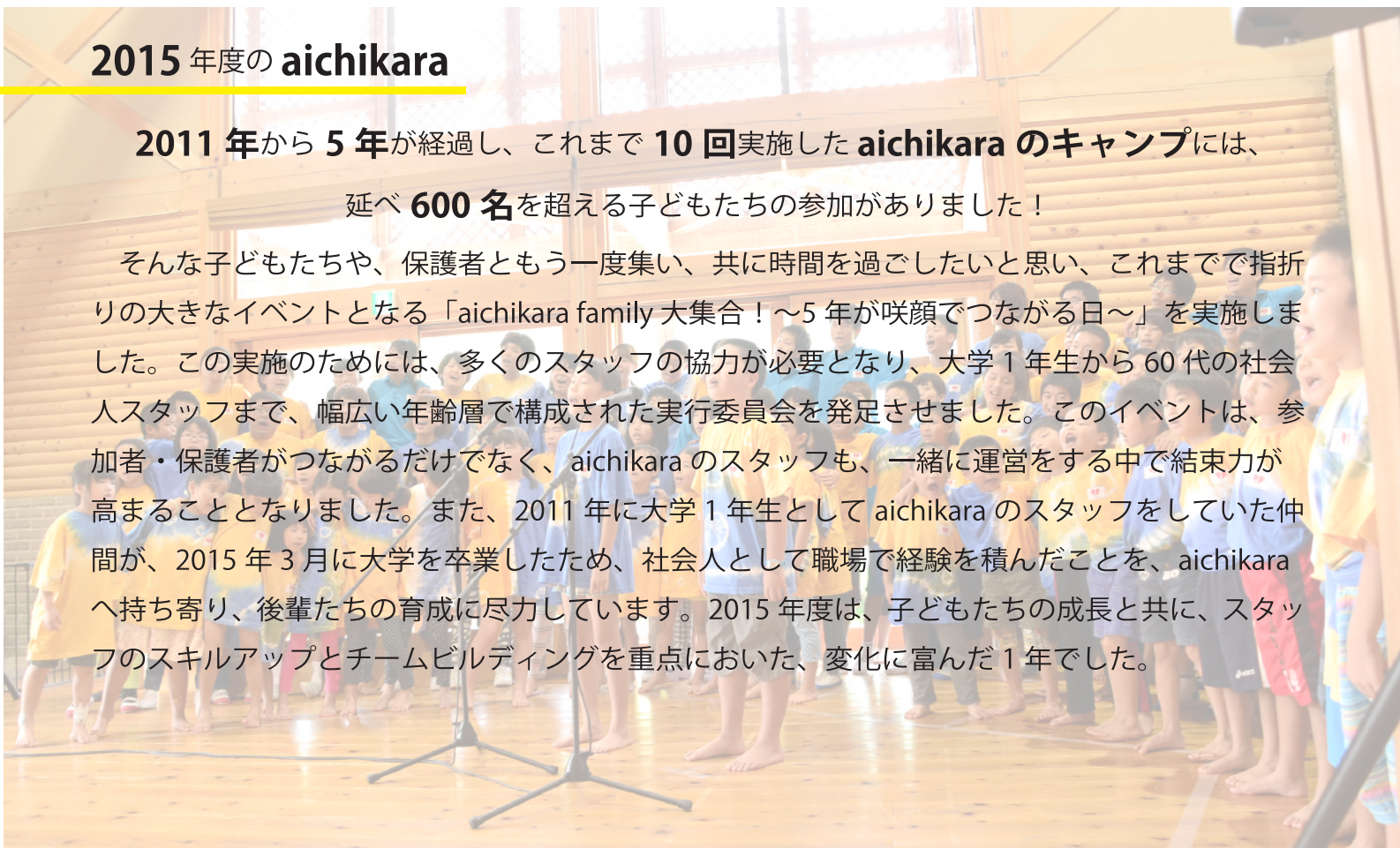
ユースカレッジ

aichikara にてボランティアとして活動している青少年(学生や社会人のスタッフ)を対象に、研修を行いました。また、青少年が「実現したい」と考える企画のサポートや、ボランティアの要請に応じて参加・協力をしました。また、2016 年 2 月には兵庫県神戸市にて合宿型の研修を行いました。

2015 年度の aichikara

2011 年から 5 年が経過し、これまで 10 回実施した aichikara のキャンプには、延べ 600 名を超える子どもたちの参加がありました！

そんな子どもたちや、保護者ともう一度集い、共に時間を過ごしたいと思い、これまでで指折りの大きなイベントとなる「aichikara family 大集合！～5 年が咲顔でつながる日～」を実施しました。この実施のためには、多くのスタッフの協力が必要となり、大学 1 年生から 60 代の社会人スタッフまで、幅広い年齢層で構成された実行委員会を発足させました。このイベントは、参加者・保護者がつながるだけでなく、aichikara のスタッフも、一緒に運営をする中で結束力が高まることとなりました。また、2011 年に大学 1 年生として aichikara のスタッフをしていた仲間が、2015 年 3 月に大学を卒業したため、社会人として職場で経験を積んだことを、aichikara へ持ち寄り、後輩たちの育成に尽力しています。2015 年度は、子どもたちの成長と共に、スタッフのスキルアップとチームビルディングを重点においた、変化に富んだ 1 年でした。



CAMP 福島県や周辺の地域及び愛知県の子どもを対象としたキャンプを実施しました。

子どもリフレッシュキャンプ 2015 夏

8 / 2
〜
12

子ども 64人
保護者 1人
スタッフ 103人
公募ボランティア 37人



主なプログラム

ラフティング



ヨット体験

シャワークライミング

博石館

合唱

釣り

神宮備林ツアー

渡合ランプ村

交流 BBQ

迷路・時計づくり

さをり織り体験



子どもリフレッシュキャンプ 2015 冬

12 / 23
〜
29

子ども 59人
保護者 4人
スタッフ 63人
公募ボランティア 13人



主なプログラム

スケート



年賀状づくり

陶芸体験

クリスマス会

ガラス工房体験



特に大切にしたいプログラム

■ 職業体験

農場や商店等で学年に応じた職業体験を行いました。人のために働くということを経験し、仕事の大切さや大変さを学びました。働くことへの関心を育むことができました。

■ 自然体験

自然の中で思い切り体を動かすラフティングなどのプログラムだけでなく、森林管理局の指導のもと、神宮備林の中に入り、木や草について学習するプログラムを実施しました。

■ 事前説明会

キャンプ開催に先立ち、参加者と保護者を対象に事前説明会を行いました。夏には、初めての宿泊型の説明会を行い、キャンプの前に子どもたち同士で触れ合うことのできる機会となりました。

■ 交流会

キャンプ開催地域（中津川市加子母）や支援者との交流会を実施しました。子どもたちは、多くの方が支えてくれているのだということに改めて認識しました。

■ ものづくり

作家さんの説明を聞きながら作り、さらに自分のお気に入りの物となるよう、個性を出していく作業は、集中力を要します。ものづくりでは、子どもたちも真剣な表情をします。

■ 事後報告・交流会（リターンズ）

キャンプ終了後、保護者にキャンプ期間中の報告をする時間を設けました。また、子どもたちはレクリエーション等を通し、スタッフや友達と交流しました。

フィールドアクション 東北地方にて活動を実施しました。

福島県福島市、二本松市

福島市の郊外を視察訪問し、現在の状況を学びました。



原発事故後の避難指示を受け、二本松市に設置された浪江町の仮役場を訪問しました。



昨年の「ペップキッズこおりやま」に引き続き、福島市の「チャンネルスクエア」を訪問しました。



宮城県気仙沼市、南三陸町

NPO法人 オールラウンドヘリコプターのご協力のもと、宮城県を訪問しました。元消防士や医師にお話を伺い、気仙沼市立本吉病院や商店街を訪問しました。参加した学生の多くが医療系の勉強をしていることから、気仙沼私立本吉病院では、院長より被災地の医療体制・在宅看護・救急医療について詳しくお聞きすることができました。

aichikara family 大集合! ~5年が笑顔でつながる日~

3/13

2011年3月11日から5年が経ち、10回実施した aichikaraのキャンプには、延べ600名を超える子どもたちに参加していただきました。これまで会った子どもたちと、もう一度再会したいという気持ちから「aichikara family大集合! ~5年が笑顔でつながる日」を開催し、これまでの参加者や保護者の皆さま約140名と共に楽しい時間を過ごしました。



■20歳のわたしへ

参加者全員が、20歳の自分・子どもに向けて手紙を書きました。子どもたちが20歳になった時に、aichikara より子どもたちと保護者の手紙と当日撮影した写真と一緒に届きます。

■レクリエーション

5年間の参加者全員を対象としていたため、子どもたち同士、知り合いでない場合も少なくありませんでしたが、レクリエーション等を通して触れ合うことができました。キャンプやこの日を通して出会った仲間と共に馴染みのゲームや歌を歌いました。



ユースカレッジ

青少年の「成長したい」「実現したい」をサポートし、具体的なスキルアップを図りました。

スキルアップ研修

合宿型研修会



仲間と向き合い、話し合うことのできるようなワークショップ等を実施し、ヒューマンスキルの向上を図りました。

また、どのようにより良いチームを作るかを考えました。

カメラ研修

子どもたちの記録を発信するため、研修を実施しました。



伝える

学校祭での出店
「朝日のあたる家」上映会
共和病院てんてん祭り

AED 研修・衛生講習会



子どもや仲間、自分の命を守るため、AED の使い方や、衛生についての学習をしました。

心理カウンセラー講習会

コミュニティカウンセラー養成講座

心理カウンセラーの先生による、コミュニケーションに関する講習会を行いました。また、コミュニティカウンセラーの資格取得のための養成講座を開催しました。

地域行事ボランティア
参協 農園での収穫
加力 支援者会合参加
3.11 犠牲者追悼式



研修 in 神戸

2/20
>
21

兵庫県の神戸市にある「人と防災未来センター」にて阪神淡路大震災について学びました。また、これから起こりうる災害にどのように対処すべきか、どんなことができ、何をすることが必要があるか等を話し合いました。また、阪神淡路大震災や東日本大震災により露呈した日本社会の課題について、ワークショップ形式で話し合いました。



■語り部によるお話し

震災当時の状況が目に浮かぶようなお話を、語り部さんから聞きました。衝撃的でしたが、これから私たちに何ができるかを考える機会となりました。

■ワークショップ

「現代社会の課題」や「子どもを取り巻く問題」について等を考え、発表しました。また、考えをまとめる力やプレゼンテーション力の向上を図りました。

